

二 講習期間ハ三週間トスルコト但シ專賣法實施期日切迫ノ際ナレハ土曜日、日曜日モ平日ノ通講習セラルヘキコト

三 講習ハ成ルヘク四月二十一日頃ニ開カレ終了ハ遅クモ五月十五日ヲ過キサコト

四 出張所ニ於テ差當リ必要ナル器具類ハ講習完了後直ニ講習員ヲシテ持參シ出發セシムルコト

五 講習ヲ受クヘキ技手ハ成ルヘク本局在勤者ト爲シ置キ講習完了ノ後夫々出張所ヘ配置セラレ度若シ已ムヲ得サル事情アリテ旅費ノ支給ヲ要スルトキハ既配賦額内ニテ處辨セラレタキコト

第七項 土地、建物其ノ他設備ノ準備

土地建物ノ借入購入
 鹽專賣法ノ發布ト同時ニ直ニ著手ヲ要スヘキハ廳舎、倉庫等ノ設備ニ在リ然ルニ建物ノ如キ之カ準備ニ付少クトモ二三年ノ歲月ヲ期スルニ非サレハ全國ニ涉リ多數ノ工事ヲ竣成スル能ハスシテ之カ急施ハ到底不能ナルヘキヲ以テ當初ニ於テハ成ルヘク借家ヲ以テ之ニ充ツルノ方針ヲ採リ借家ノ有無ニ付調査ヲ爲シタルコトハ既ニ述ヘタルカ如シ元來製鹽地ハ市街地ヲ距ルモノ多クシテ僻在セル海濱ニハ借家スラ容易ニ得ル能ハサルモノアリ此等ノ地方ニ在リテハ假建築ノ已ムヲ得サルアリテ差向二三年間供用ノ目的ヲ以テ至急起工ノ必要アリ依テ假建築敷地ノ借入及借家ノ借入ニ付稅務監督局ノ内調ニ基キ之カ實行ニ著手スルコトトシ特ニ本省ヨリ吏員ヲ派シテ實地ニ就キ調査セシメ直ニ交渉ヲ遂ケ之ニ依リ稅務官廳ヲシテ借入ノ手續ヲ爲サシメ明治三十八年三月迄ニ之カ手續ヲ完了シタリ此クシテ借入タル建物ハ廳舎用四千七百三十八坪五合、

倉庫用八千六百四十五坪ニシテ民有建物ナリ假建築ヲ要スヘキモノ廳舎ニ在リテハ一千八百二十一年五合倉庫ニ在リテハ一萬六千七百九坪ヲ計フルニ至リ之ニ要スル敷地ノ借入ヲ爲シタリ土地建物ノ借入購入又ハ借家ノ補修ニ付キ其ノ取扱方ヲ左ノ通稅務監督局ニ示達シタリ

大藏大臣達臨第一二七號(明治三十八年一月二十一日)

△稅務監督局

鹽專賣ニ要スル土地建物ノ借入購入及建物ノ補修ハ別紙ノ手續ニ依リ其ノ局ニ於テ之ヲ取扱フヘシ

鹽專賣ニ要スル土地建物ノ借入購入及補修手續

第一條 鹽專賣ニ要スル土地建物ノ借入購入及建物ノ補修ハ仕拂豫算ノ委任ヲ受ケタル都度成ルヘク速ニ其手續ヲ爲スヘシ

第二條 假設廳舎倉庫ニ充ツヘキ建物ノ借入契約書ハ別紙第一號書式ニ準據調製シ契約締結ノ上ハ直ニ契約書寫(圖面寫トモ)ヲ主務局ニ送付スヘシ

第三條 前條ノ建物借入當初ニ於テ國費ヲ以テ補修ヲ要スルトキハ其所要額ヲ調査シ圖面及仕様概說書ヲ添付シ豫算額ヲ請求スヘシ

第四條 假建築敷地ノ借入契約書ハ別紙第二號書式ニ準據調製シ契約締結ノ上ハ直ニ契約書寫(圖面寫トモ)ヲ主稅局ニ送付スヘシ

第五條 本建築敷地ノ購入契約書ハ別紙第三號書式ニ準據調製シ契約締結ノ上ハ直ニ契約書寫(圖面寫トモ)ヲ添付シ該地種ノ組替ヲ稟請スヘシ但シ契約ニ先チ該地ハ左ノ各號ニ該當セ

サルモノナルコトヲ調査スルヲ要ス

一 地上權、永小作權、地役權、質權及抵當權ノ設定アルモノ

二 賃借權ノ登記アルモノ

三 條件ノ附帶アルモノ

第六條 購入地域内ニ道路溝渠ノ官有ニ屬スルモノアルトキハ當該地方廳ニ對シ本省用地ニ編入差支ノ有無ヲ協議シ其ノ協議濟ノ書類及道路溝渠ノ長幅間數坪數取調書ヲ前條稟請書ニ添付スヘシ

第七條 分筆ヲ要スル土地ハ購入契約前所有者ヲシテ分裂ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第八條 第五條ノ稟請ニ對スル指令ヲ受ケタルトキハ登記義務者ノ承諾書ヲ徴シ不動産登記法第三十一條ニ依リ遲滞ナク其ノ登記ヲ囑託スヘシ

第九條 土地購入代價ハ前條ニ依リ登記囑託ノ手續ヲ了シタル後遲滞ナク支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條 賣買代價及賃借料月額ニシテ厘位ノ端數存スルトキハ賣主又ハ貸主ニ交渉シ厘位切捨ノ上錢位ニ止メシムヘシ

第十一條 賣買及賃借契約ニ際シ相手方ノ能力又ハ代理權限等ヲ注意スヘシ

第十二條 購入スヘキ土地ニシテ本手續ニ規定シタルモノノ外ハ明治三十一年達第六〇〇號官有財産取扱規程ニ依ルヘシ

(第一號書式)

建物賃借契約書

何府縣郡市町村大字番地何坪地内

一木造瓦葺平家(二階建)

此建坪何坪(外階上何坪)

一土藏(何々)

此建坪何々

一木造板葺便所(何々)

此建坪何坪

一棟

外二

門

何箇所

板塀

何間

何々

以上建物及敷地別紙圖面ノ通

右建物ヲ明治三十八年何月何日ヨリ鹽專賣廳舎(貯鹽倉庫)用トシテ左ノ條項ニ依リ賃貸借契約ヲ締結ス

一 賃借料ハ一箇月金何程トシ毎翌月初旬ニ於テ支拂フモノトス但シ一箇月ニ滿タサルトキハ賃借日數ニ依リ日割計算(賃借料ニ賃借日數ヲ乘シ其ノ月ハ)ヲ爲スモノトス

二 借主ヨリ建物附屬工作物ノ修繕及疊建具其ノ他一切ノ修理陸子張井戸、下水道ノ疏浚竝樹木ノ刈込等ヲ要求シタルトキハ借主ハ遲滯ナク修繕シ其ノ費用ハ貸主ニ於テ負擔スルモノトス

三 賃借當初ニ於テ修修ノ必要アルトキハ借主ノ負擔ヲ以テ廳舎(倉庫)ニ適當ナル修繕又ハ補足工事ヲ加フルモ貸主ニ於テ異議ヲ述ヘサルモノトス(貸主ニ於テ此費用ノ負擔ヲ承諾セハ本項削除)

四 構内ノ樹木ヨリ生スル收益(及下肥)ハ貸主ニ於テ取得スルモノトス(構内樹木等存在セサルトキハ本項削除)

五 賃借期間ハ明治三十八年三月三十一日迄トス

六 賃借期間内ト雖借主ハ何時ニテモ解約ヲ爲シ現狀ノ儘還付スルモ貸主ニ於テ異議ヲ述ヘサルモノトス

七 賃借期間滿了日ニ於テ借主ヨリ解約ノ通知ヲ爲ササルトキハ此契約條項ニ依リ爾後一箇年宛賃借ヲ繼續スルモノトス

右契約ノ成立ヲ證スル爲本書ニ通テ雙方記名捺印ノ上各一通ヲ領置ス

明治三十八年 月 日

住所

貸主 氏 名

借主 稅務管監督局長 名

備考

一 二人以上ノ共有ニ係ルトキハ契約條項中ニ何某ヲ以テ貸主惣代トシ此契約ノ權利ヲ行使シ義務ヲ履行セシムル一項ヲ加ヘ各住所氏名ヲ連記捺印セシムルモノトス

二 圖面ハ敷地ノ位置、方面、面積及建物ノ形狀、坪數等ヲ記載シ層階ノ部分ハ掛紙ヲ爲シ契印スルモノトス

三 本書借主ノ領置スヘキ一通ニハ貸主ヲシテ收入印紙ヲ貼用消印セシムルモノトス

(第二號書式)

土地賃貸借契約書

何府縣郡市町村大字字地番

一郡村宅地(何々)(何程ノ内)何段何畝歩(何坪)

右土地ヲ明治三十八年何月何日ヨリ鹽專賣廳舎(貯鹽倉庫)建築敷地トシテ左ノ條項ニ依リ賃貸借契約ヲ締結ス

第二章 專賣法ノ制定

- 一 賃借料ハ一箇月金何程トシ毎翌月初旬ニ於テ支拂フモノトス但シ一箇月ニ滿タサルトキハ賃借日數ニ依リ日割計算(賃借料ニ賃借日數ヲ除シ厘位切捨銀額ニ共月ノ日ヲ爲スモノトス)
 - 二 地上ノ存在物ハ貸主ニ於テ自己ノ負擔ヲ以テ此契約成立後何日間(又ハ何月何日迄)ニ悉皆取除クヘキモノトス(取除クヘキ存在物ナキトキ又ハ貸主ニ於テ此費用ノ負擔ヲ承認セサルトキハ本項削除)
 - 三 貸主ハ自己ノ負擔ヲ以テ此契約成立後何日間(又ハ何月何日迄)ニ現地盤ヨリ何尺ノ盛土(鋤取)ヲ爲スモノトス(盛土又ハ鋤取ヲ要セサルトキ又ハ貸主ニ於テ此費用ヲ負擔セサルトキハ本項削除)
 - 四 賃借期間ハ明治三十八年三月三十一日迄トス
 - 五 賃借期間内ト雖借主ハ何時ニテモ建物ヲ取除キタル土地ノ現狀ヲ以テ解約ヲ爲スモ貸主ニ於テ異議ヲ述ヘサルモノトス
 - 六 賃借期間満了日ニ於テ借主ヨリ解約ノ通知ヲ爲ササルトキハ此契約條項ニ依リ爾後一箇年宛賃借ヲ繼續スルモノトス
- 右契約ノ成立ヲ證スル爲本書ニ通テ作り雙方記名捺印ノ上各一通ヲ領置ス

明治三十八年 月 日

住所
 貸主 氏 名
 借主 稅務監督局長 名

備考

- 一 二人以上ノ共有ニ係ルトキハ契約條項中ニ何某ヲ以テ貸主惣代トシ此契約ノ權利ヲ行使シ義務ヲ履行セシムル一項ヲ加ヘ各住所氏名ヲ連記捺印セシムルモノトス
- 二 圖面ハ土地ノ位置、方向、面積ヲ記載スルモノトス
- 三 本書借主ノ領置スヘキ一通ニハ貸主ヲシテ收入印紙ヲ貼用消印セシムルモノトス

土地賣買契約書

何府縣郡市町村大字字地番

一郡村宅地(何々)何段何畝歩(土地(縦横面ノ段別又ハ坪數))

此代價金 何 程

同字地番

一畑(何々)何段何畝歩 (同上)

此代價金 何 程

合段別何段何畝歩但別紙圖面ノ通

此代價金 何 程

右土地ヲ前記ノ代價ヲ以テ所有者何某ト買主大藏省ト左ノ條項ニ依リ賣買契約ヲ締結ス

一 前記ノ土地ハ賣主何某ノ所有ナルコト確實ニシテ又第三者ニ對シ何等ノ關係アルコトナシ

二 地上ノ存在物ハ賣主ニ於テ自己ノ負擔ヲ以テ此契約成立後何日間(又ハ何月何日迄)ニ悉皆取除クヘキモノトス(地上ニ存在物ナキトキ又ハ存在物ノ取除ヲ要セサルトキハ本項削除)

三 買主ハ此契約成立後何日間(又ハ何月何日迄)ニ地種組替及登記ノ手續ヲ了シ賣主ニ對シ前記ノ代價ヲ支拂フモノトス

四 土地受渡前天然等ノ爲メ地形ヲ變シタルトキハ買主ハ本契約ヲ解除スルコトアルヘシ此場合ニ於テ賣主ハ買主ニ對シ損害賠償等ノ請求ヲナササルハ勿論其他何等ノ異議ヲ述ヘサルモノトス

右契約ノ成立ヲ證スル爲メ本書ニ通ヲ作り雙方記名捺印ノ上各一通ヲ領置ス

明治三十八年 月 日

住所

土地所有者 氏 名

買受契約擔任者

稅務監督局長 氏 名

備考

一 圖面ハ土地ノ位置ノ方向、每筆ノ區域、面積ヲ記載シ尙周圍ノ地形ヲ略記スルモノトス

二 本書買主ノ領置スヘキ一通ニハ賣主ヲシテ收入印紙ヲ貼用消印セシムルモノトス

右手續第三條ニ依リ借入建物ノ補修ヲ要スル場合ニ於ケル心得方ニ付主稅局長ハ稅務監督局長ニ對シ左ノ通牒ヲ爲シタリ

△ 稅務監督局長

大藏省主稅局長通牒第一四四號 (明治三十八年十一月二十三日)

鹽專賣ニ要スル土地建物ノ借入、購入及補修手續第三條ニ依リ借入建物ノ補修ヲ要スルトキハ別紙心得書ニ準據御處理相成度右及通牒候也

追テ借家補修費豫算ハ本年度ニ限り支出シ得ヘキ義ニ付往々補修工事ノ二箇月以上ニ渉ル長期間ヲ要スルモノナキヲ保セサルモ年度ノ繰越ハ頗ル手數ヲ要スルヲ以テ是等ハ職工ヲ増加スル等適宜御配意ノ上必ス年度内ニ竣功ヲ期セラレ度此旨申添候

借入建物補修方心得

第一 假設廳舎倉庫用トシテ借入タル建物ニシテ國費ヲ以テ補修ヲ要スルモノハ本心得書ニ依リ其ノ工事ヲ施行スルモノトス

第二 借入建物ハ本建築完成迄一時應急ノ用ニ供スルモノナルヲ以テ其ノ補修工事ハ簡易且迅速ナルコトヲ要ス其ノ費額ハ多クモ一坪二圓以内トシ期限ハ遅クモ三月末日迄トス

第三 補修工事ノ方法ハ大體左ノ條件ヲ標準トシ尙ホ借入建物ノ實況ニ應シ適宜之ヲ施行スルモノトス

廳舎

一 廳舎ニ充用スヘキ借家ノ必要間室ハ事務室、公衆控所、應接室、分析室、宿直室、小使室、湯沸所、物置、便所及必要廊下ノ十種トシ其ノ總坪數ニ對シ各室所

要坪數ノ割合左ノ如シ(此總坪數ハ豫算配賦ノ際通牒ニ於テ借家ノ總建坪數ニ相當ス)

事務室 四二

公衆控所 一五

應接室 六

分析室 一二

第二章 專賣法ノ制定

宿直室	四
小使室	五
湯沸所	七
物置	四
便所	五
合計	一〇〇

借家ノ狀況ニ照シ多少坪數ニ増減ヲ加ヘ又ハ間室ノ兼用ヲ爲スモ妨ケナシ

- 一 公衆入口ト官吏昇降口トハ已ムヲ得サル場合ノ外之ヲ區分スルコト
- 一 事務室ハ天井附床板張トシ成ルヘク多數ノ窓及相當ノ押入ヲ設ケルコト
- 一 公衆控所ハ天井附土間又ハ叩キ間トシ事務室ト相鄰接シ其ノ共通間仕切ニ受付窓ヲ取設ケ硝子障子又ハ鐵網障子建ト爲シ其ノ受付棚ハ公衆控所床ヨリ三尺四五寸ノ高サト爲シ控所ノ週邊適當ノ位置ニ腰掛ヲ設ケルコト(本項以下ニ於テ又ハ「若ハトシテ」ニ種以上ノ構造ヲ定メアルハ成ルヘク在來ノルヲ要ス)
- 一 應接室ハ天井附床板張トシ成ルヘク事務室ニ接近セシムルコト
- 一 分析室ハ天井附トシ成ルヘク土間又ハ叩キ間ヲ可トス
- 一 宿直室及小使室ハ何レモ天井附疊敷トシ押入ヲ設ケルコト但シ小使室ハ成ルヘク湯沸所ト鄰接セシムルヲ要ス
- 一 湯沸所ハ土間又ハ叩キ間トシ中央又ハ適當ノ位置ニ石若ハ煉化爐及水流ヲ設ケルコト
- 一 物置ハ床板張土間又ハ叩キ間トシ成ルヘク湯沸所ニ接近セシムルコト
- 一 便所ハ土間又ハ叩キ間トシ大小便所ノ區分ヲ爲シ手洗場ヲ設ケ清潔ヲ主トスルコト
- 一 以上各室ノ窓及入口ニハ各相當ノ戸締ヲ爲スコト
- 一 以上各室中物置及便所ハ成ルヘク附近別棟ヲ可トシ小使室湯沸所及分析室ハ已ムヲ得サル場合ニ限り附近別棟ニ於テスルモ差支ナシ
- 一 大體ノ構造ニ關シテハ二三年間維持上危險ノ恐ナキ程度ニ於テスルコト以下各建物亦同シ

貯鹽倉庫

- 一 床ハ成ルヘク土間トシ砂四五寸ヲ敷クヲ要ス(撒鹽貯藏ノ分ニ在リテハ砂ノ上部ニ粘質土ヲ覆ヒ十分之ヲ突堅ムルヲ可トス)在來石敷、叩キ床又ハ轉ハシ木製床等ナルトキハ其儘ニテ妨ケナシ但シ叩キ床又ハ土間床ニシテ梅雨期ニ於テ地面濕氣ノ恐アルモノハ簀子ヲ敷詰ムルニ支障ナカラシムルヲ要ス
- 一 庫内貯鹽場ノ前部ニハ成ルヘク相當ノ餘地ヲ存シ之ヲ荷造場ニ充ツルヲ要ス
- 一 窓ハ風通ヲ防ク爲メ荷造ノ採光上差支ナキ限リ成ルヘク之ヲ少クスルヲ要ス構造ハ格子附油紙障子窓又ハ硝子障子窓若ハ戸締リ附紙張障子窓トシ荷造場ノ側ニ於テ之ヲ設ケルモノトス若シ貯鹽場ニ既設ノ窓アル場合ニハ風雨ヲ防クニ足ルヘキ嚴重ナル設備ヲ要ス
- 一 入口ハ成ルヘク六尺以上トシ嚴重ナル締錠ヲ付スルコトヲ要ス
- 一 壁ハ空氣ノ流通ヲ防クカ爲メ煉化、石造、土造又ハ板張ト爲スコトヲ要ス
- 一 屋根ハ如何ナル材料構造ニテモ妨ケナシト雖モ雨洩ノ恐ナキヲ期スルコトヲ要ス

一 散鹽貯藏所ニハ前各項ノ外石煉化又ハ木製ノ間仕切羽目ヲ設ケ前面鹽出入口ハ厚板ヲ以テ蔽外シ自在ノ仕切ヲ設備スルヲ要ス
上屋

一 上屋ハ納付鹽ノ品質検査所ナルヲ以テ成ルヘク取扱上便宜ノ場所ニ設置スルヲ要スト雖モ若シ適當ナル別棟ナキトキハ貯鹽倉庫内又ハ其ノ底下ニ設
備スルヲ要ス倉庫總坪數ニ對シ所要上屋坪數ノ割合左ノ如シ

借入倉庫 八〇坪以内ニ對シ 上屋 六坪

同 五〇〇坪以内ニ對シ 同 十二坪

同 五〇〇坪以上ニ對シ 同 二十一坪

構造ハ叩キ又ハ土間トシ適當ナル窓及入口ヲ設ケ周圍ハ雨滴ノ浸入ヲ防クニ足ルヘキ設備ヲ爲スコトヲ要ス

倉庫夫控所

一 借家中適當ナル別棟ナキ場合ニハ倉庫又ハ廳舎ノ一部ヲ以テ之ニ充ツルヲ要ス倉庫總坪數ニ對スル其ノ所要坪數ノ割合左ノ如シ

借入倉庫 八〇坪以内ニ對シ 倉庫夫控所 三坪

同 五〇〇坪以内ニ對シ 同 四坪五合

同 五〇〇坪以上ニ對シ 同 七坪五合

構造ハ一部ヲ土間又ハ叩キ間トシ中央ニ石又ハ煉化爐ヲ設ケ其ノ他ノ部分ハ床張疊敷トシ倉庫夫ノ休憩所及喫飯所ニ充テ周圍ニハ適當ナル窓及入口ヲ設クルヲ要ス

倉庫夫及外來人便所

一 倉庫附近ニ於ケル別棟ヲ以テ之ニ充ツルヲ要ス倉庫總坪數ニ對スル其ノ所要坪數ノ割合左ノ如シ

借入倉庫 八〇坪以内ニ對シ 便所 一坪五合

同 五〇〇坪以内ニ對シ 同 二坪

同 五〇〇坪以上ニ對シ 同 三坪五合

假圍

一 取締上借入建物構内ノ周圍ニ假圍ヲ要スル場合ニハ輕易ナル丸太柵、竹柵又ハ板圍等ヲ設クルコト

通路ノ修理

一 借入建物構内通路惡シク車馬ノ往復ニ困難ナル場合ニハ相當砂利敷ヲ施スコト

第四 工事施行ノ手續ハ大藏省所屬工事ノ取扱規程ニ依ルモノトス

第五 貸主ニ於テ自己ノ負擔ヲ以テ補修ヲ爲ス場合ニ在リテモ本心得書ノ趣旨ニ準據シ補修ヲ爲サシムルモノトス

右手續ハ鹽務局開廳後東京、大阪、橫濱、長崎、名古屋、仙臺、金澤、熊本、鹿兒島ノ九鹽務局ニ對シテハ左ノ

通示達シタリ

大藏大臣達臨第一三二二三號ノ二 (明治三十八年四月一日)

第二章 專賣法ノ制定

鹽專賣ニ要スル土地建物ノ借入購入及建物補修手續ハ本年一月二十一日臨第一二七號稅務監督局ニ對スル通心得ヘシ

而シテ新ニ設置セラレタル赤穂味野尾道三田尻撫養阪出ノ六鹽務局ニ對シテハ別ニ左ノ達ヲ爲シタリ

大藏大臣達臨第一三二三號ノ一（明治三十八年四月一日）

鹽專賣ニ要スル土地建物ノ借入購入及建物補修ノ手續別紙ノ通心得ヘシ

（二月二十一日臨第一二七號稅務監督局達ニ同シ）

土地建物ノ借入又ハ購入ニ付テハ稅務監督局長ノ調査報告ニ基キ其ノ豫定地ヘ向ケ本省ヨリ吏員ヲ出張セシメ實地ニ就キ適否ヲ調査シ適當ト認ムルモノニ對シテハ補修ニ關スル打合等ヲ爲サシメ其ノ報告ニ依リ借入又ハ購入ヲ決定シ仕拂豫算ヲ以テ所管稅務監督局長ニ委任シ之カ處理ヲ爲サシメタリ當時廳舎ノ敷地ハ其ノ位置ニ付競争又ハ希望等アリテ無代獻納ノ申出ヲ爲スモノアリシモ此等ハ全ク聽許セサルコトニ省議ヲ定メ多少低價ニテ買上ヲ爲スヲ得タルモノアリ總テ土地ノ購入ニ在リテハ契約締結後直ニ地種組替ヲ稟請セシメ手續ヲ完了シタリ尋テ土地又ハ建物ノ借入變更若ハ借料増額等ノ場合ニハ豫メ認可ヲ受ケ決行セシムルコトトシ左ノ達示ヲ爲シタリ

大藏大臣達第一二三二號（明治三十八年四月一日）

其ノ局及出張所用土地建物ノ借入變更又ハ借料ノ増額ヲ要スルトキハ契約書案及圖面ヲ添附シ豫メ認可ヲ受クヘシ

前項廳舎移轉ニ係ルモノハ移轉十日以前ニ其ノ年月日ヲ報告スヘシ

建物ノ準備ニ在リテハ臨時煙草製造準備局ノ司掌ニ屬セシモ其ノ補修事務ニ付テハ稅務監督

局ヲシテ之ニ當ラシムルヲ便トシ主稅局ノ主管ニ移スヲ可ナリト認メタルヲ以テ明治三十八年三月左ノ通省議ヲ決シタリ

大藏省議決定（明治三十八年三月三日）

鹽專賣ノ準備ニ關スル建築事務ハ臨時煙草製造準備局ノ司掌ニ屬シ候處借入建物ノ補修タルヤ地方ノ慣例建物ノ形狀ニ應シ現形ヲ參酌シ個々異様ノ修理工事ヲ施ササルヘカラサルヲ以テ同局ニ於テ之ヲ施行スルトキハ各地方ニ互レル些々タル修理工事ニ對シ一々技術員ヲ派シテ調査又ハ設計ヲ爲シ尙其ノ工事ヲ監督セサルヘカラサル等徒ニ無用ノ失費ト時日トヲ要シ鹽專賣法實施ノ急ニ應スル能ハサルニ依リ勢所轄稅務監督局又ハ稅務署ヲシテ之ニ當ラシムルノ外無之果シテ然ラハ稅務監督局又ハ稅務署ノ監督部局タル主稅局ニ於テ總テ之ヲ處理スル方諸般ノ便宜ト進捗ノ敏活トヲ期シ得ラレ候義ニ有之就テハ右專賣ニ要スル廳舍倉庫用トシテ借入ノ建物ニシテ國費ヲ以テ補修ノ契約アルモノニ在リテハ其ノ補修工事ニ關スル一切ノ事務ハ主稅局ノ主管トシ國費新營事務ノミハ臨時煙草製造準備局ノ主管ト解釋シ可然哉

假建築

假建築ニ供スヘキ敷地ニ對シテハ主稅局員ト共ニ煙草製造準備局ヨリ技術員ヲ出張セシメ之カ選定ヲ爲スト同時ニ直ニ敷地ノ測量ヲ執行シ精密ナル調査ヲ遂ケシメ且其ノ地方ニ於ケル建築材料ノ時價ヨリ諸職工賃等ニ付調査ヲ爲サシメ其ノ報告ニ接スルヤ直ニ設計ニ著手シ入札手續ヲ爲シ起工ヲ急キタリ然ルニ新營ヲ要スルモノ五十六箇所坪數約二萬坪ニ上リ然カモ一箇所數千坪ニ上レルアリ土地ノ借入ヲ了シ爾後三箇月ノ間ニ竣成ヲ期セルモノナルヲ以テ大工事ノ箇所ニ在リテハ工期ヲ分チ最急ヲ要スル廳舍上家倉庫ノ幾部ハ之ヲ速成シ實施上支障ナカラシムルコトト爲シタリ

假建築ハ本建築竣工ニ至ルマテニ於ケル一時的ノ假設ナルヲ以テ成ルヘク構造ヲ簡易ニシ一面ニハ海岸ニ於ケル風力ニ耐フヘキコトニ注意シ且貯鹽ニ必要ナルヘキ斟酌ヲ爲シ工事上ニ於テ力メテ實用經濟的ナラシメ工費ノ節約ヲ爲シタリ然レトモ工事施行ニ際シ時局發展ニ伴ヒ戰地ニ於テ建築材料及諸職工ノ需要ヲ喚起シタル爲メ内地ニ於テ之カ缺乏ヲ告ケ價格及勞銀ノ暴騰ヲ告ケ工費豫算ノ按排ニハ頗ル警戒ヲ要シタリ建物ノ構造上ニ於テ特種ノ施設ト見ルヘキ要點ヲ舉クレハ左ノ如シ

一 屋根ハ草葺ノ方鍼力板等ヨリ廉ナルノミナラス貯鹽上ニ於テ可良ナルヘキニ由リ草葺ト爲シタルコト

二 海濱ナルヲ以テ風害ニ注意シ堀建ト爲シ必要ナル筋違及方杖等ヲ施シ堅牢ナラシメタルコト

三 倉庫ノ窓ハ貯鹽上及收容上ニ於ケル必要程度ヲ考ヘ其ノ施設ヲ斟酌シ障子ハ經費節約上總テ紙張油引ト爲シタルコト

四 倉庫ノ床ハ民間ノ鹽倉ニ倣ヒ砂利敷簀子張ト爲セルコト

建築ノ構造ハ普通ノ工事ト稍趣ヲ異ニスヘキヲ以テ先ツ技師ヲ派シテ實地ニ就キ現状ヲ視察シ建築上ニ於ケル研究ヲ遂ケシメ愈々著手ニ臨ミテヤ工事ノ敏速竝施行上遺算ナカラシムルコトヲ期シ其ノ衝ニ當ル技術員ヲシテ數日間之ニ關スル講習ヲ爲サシメ各地ニ分派シ工事ノ説明竝監督ニ當ラシメタリ尤モ小工事ノモノ十三箇所ニアリテハ特ニ監督員派出ノ要ヲ認メサルヲ以テ地方官衙ニ之ヲ囑託施行シタリ而シテ更ニ全工事ヲ七區ニ分チ小工事ノ二區ヲ除キ他ハ各區ニ監督員一名ヲ配シ工区内ヲ巡視督勵セシメタルノ外別ニ又臨時監督員ヲモ出張セシメ施工ノ周到ト公平トヲ期シタリ

假建築ヲ爲シタル箇所左ノ如シ

等級	箇所數	場	所	名
二 等	四	中關	撫養	阪出 大鹽
三 等	一	赤穂	味野	
四 等	二	湯元	松永	秋穂(浦) 竹原 吉田 高松 山田 西伯方 日比 詫間
五 等	一〇	平生	小松志佐	小波瀨 福川 牛窓 腹赤 飯田 德島 波止濱 多喜濱
六 等	一〇	鏡	長府	東栗部 三津濱 神 社 東大分 津屋崎 阿村
七 等	八	西市來	蒲郡	喜々津 三津濱
八 等	一	新濱	鳴門	秋穂(青江)
九 等	五	柳井津	見能林	松原 西浦 岡山 盛口 曾根 本渡
十 等	八	中村(福島縣)		
十一 等	二	安藝	中村(高知縣)	
計	五六			

其ノ坪數並箇數左ノ如シ

類別	坪數	箇數	類別	坪數	箇數
廳舍	一、八二一、五〇	計	下溜	一九、六一四、〇〇	二、二八七、三六
倉庫	一六、七〇九、〇〇	門	橋	一〇、〇四	二八
上家坪	六六九、〇〇	柵	利	五、六一九、八八	四七
倉庫夫控所坪數	二七七、五〇	砂	數	一五、二六五、七六	三七
便所坪數	一三七、〇〇	井		四三	

其ノ全部工費二十八萬六千三十八圓八十六錢ヲ要シタリ

本建築準備

假建築ノ進行ト共ニ本建築ノ準備ヲ要スルヲ以テ主稅局長ハ新設鹽務局長ニ照會シ豫定建築地ノ當否ニ付念調セシメ其ノ敷地選定ニ付左ノ事項ヲ注意シタリ

大藏省主稅局長通牒主祕第一五二號 (明治三十八年四月十九日)
鹽專賣ニ要スル廳舍、倉庫ノ假設備ハ本年五月マテニ粗々完成ヲ告クヘキ豫定ナルヲ以テ引續キ本建築ニ著手ノ筈ニ有之就テハ將來設備スヘキ廳舍、倉庫

第二章 專賣法ノ制定

ノ位置ニ關シ念調可致旨及照會候次第ナルカ右位置ノ變更ヲ要セサル分ハ別紙注意事項ニ依リ適當ナル場所ヲ至急選定ノ上一箇所毎ニ左記事項ヲ當局ヘ
申報相成度右及通牒候也

- 一 選定場所
 - 二 地目段別及地價
 - 三 賣買價額
 - 四 選定地ヨリ最近及最遠鹽田マテノ距離及交通、運輸ノ便否
 - 五 所轄内ニ於ケル三十七年間鹽生産數量
 - 六 前各項ノ外參考トナルヘキ事項
 - 七 左ノ事項ヲ附記シタル大體ノ測量圖但測量圖ハ千坪以内ハ縮尺二百分ノ一、千坪以上ハ三百分ノ一ヲ以テ調製スルコトヲ要ス
- (一) 敷地周圍ノ間數
- (二) 敷地坪數
- (三) 敷地ノ種類 (田、畑、宅地、埋地等)
- (四) 敷地内ニ現存セル建物又ハ工作物及其移轉費見込額
- (五) 敷地附近ニ於ケル運河ノ水深、幅員及其滿干潮ニ於ケル船舶出入ノ適否
- (六) 敷地附近ニ於ケル道路ノ種類(縣道又ハ里道等)幅員、敷地ト高低ノ差及鹽田其他附近町村ヘノ連絡
- (七) 水害ノ有無

土地選定注意事項

- 第一 敷地ハ成ルヘク鹽田ニ接近シ納付者及引取者ノ運搬ニ便利ナル地點タルコトヲ要ス
- 第二 鹽田附近ニ於テ適當ナル土地ヲ得サルトキハ成ルヘク其ノ地方全體ニ共通シ車馬舟運ノ便アル地點タルコトヲ要ス
- 第三 水面埋立地ハ設備多大ノ失費アルヲ以テ必ス之ヲ避クルコトヲ要ス但シ他ニ適當ナル土地ナク民間ニ於テ埋立ノ上供給スル場合ハ此ノ限ニ在ラ
- 第四 建物又ハ工作物移轉ノ爲多額ノ費用ヲ要スル土地ハ之ヲ避クルコトヲ要ス
- 第五 運搬等ハ便利ナルモ水害豫防等ノ爲平均三尺以上ノ盛土ヲ要スル土地ハ之ヲ避クルコトヲ要ス
但シ他ニ適當ナル土地ナク賣主ニ於テ盛土ノ上供給スル場合ハ此限ニ在ラス
- 第六 敷地ハ已ムヲ得サル場合ニ於テ平坦ノ地盤タルコトヲ要セス車馬ノ往復ニ支障ナキ限多少ノ坂地ニテモ妨ケナシ
- 第七 敷地ハ一箇所ニ於テ選定スルコトヲ要ス
- 第八 敷地坪數ハ總建物坪數ノ三倍タルコトヲ要ス
但シ已ムヲ得サル場合ニハ一割内外ヲ減少スルモ妨ケナシ
- 第九 車馬道又ハ運河ノ便ヲ缺クトキハ之カ新設又ハ開鑿ニ容易ナル土地タルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ其ノ新設又ハ開鑿スヘキ敷地ノ地主ニ對シ豫メ内協議ヲ爲スコトヲ要ス
- 第十 本建築ヲ爲スヘキ坪數概ネ別表ノ如シ(別表省略)

斯クシテ本建築敷地ハ鹽務局ノ調査申報ニ依リ建築部員ノ實地踏查ヲ俟チテ之ヲ決定スヘキ順

序ト爲シ調査ヲ進行シタリ

器具器械ノ購入

鹽務官廳ノ事務ハ一般官廳ノ事務ト稍、其ノ趣ヲ異ニスルヲ以テ事業上特殊ノ備品ヲ要スルコト
尠ナカラス而カモ其ノ官廳數ノ如キモ百有餘ノ多キニ及ヘルヲ以テ通常備品ニ在リテモ其ノ所
要寡少ナラス故ニ之カ設備ニ在リテハ種々考究ノ結果其ノ一部即チ鑑定分析用品ノ如キ品質ノ
精良ト各局ノ劃一トヲ要スルモノニ在リテハ本省ニ於テ之ヲ取纏メ購入シ現品ヲ各官廳ニ配送
スルコトトシ其ノ他ノ設備品ハ豫メ鹽務官廳ノ設置及吏員ノ配置等ヲ内示シ相當經費ヲ配付シ
各稅務監督局ヲシテ職員用卓子椅子及室内用品、時計、帽子掛、書箱、應接所備付器具等必要器具ノ購
入備付ヲ爲サシメ鹽務局ノ開廳セラレルニ及ヒ其ノ準備品一切ヲ鹽務局ニ引渡サシムルコトト
シ之カ準備ヲ整ヘシメ四月一日ニ至リ經理事務取扱方ニ付稅務監督局及鹽務局ニ對シ左ノ示達
ヲ爲シタリ

大藏大臣達第五六三號 (明治三十八年四月一日)

△稅務監督局、鹽務局

鹽務局官制施行ニ付經理事務取扱方左ノ通心得ヘシ

- 一 稅務監督局ニ於テ鹽專賣施行準備費ヲ以テ購入シタル物品ハ之ヲ鹽務局ニ引繼クヘシ
- 二 稅務監督局ニ於テ借入又ハ購入ニ係ル鹽專賣用建物及土地ハ之ヲ鹽務局ニ引繼クヘシ
- 三 三十七年度鹽專賣施行準備費支辨ノ債務ニシテ三月三十一日マテニ支出額確定ノモノ
ハ稅務監督局ニ於テ仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

其ノ他ノ準備

先是鹽專賣法發布セラレ鹽務ニ關スル事務ハ舉ケテ大藏省所管ニ移スニ至リタルヲ以テ大藏大
臣ハ左ノ協議ニ依リ鹽ニ關スル書類又ハ設備品ノ保管移換ヲ受クルコトトナリ農商務大臣ヨリ

引繼ヲ受ケタリ

大藏大臣照會臨第一九四九號 (明治三十七年十二月二十八日)

鹽專賣法案モ兩院通過シ不日公布可相成候ニ付テハ製鹽ニ關シ貴省ニテ從來御調査相成候書類ニシテ專賣上將來參考トナルヘキモノ有之候ハ、此ノ際當省へ御引繼ヲ受ケ度尙又鹽專賣施行ト共ニ製鹽業ノ改良獎勵ヲ企圖致度候ニ付テハ右技術的調査ニ關シ貴省ニテ從來御設備相成候器具、器械、藥品等モ此ノ際當省へ保管轉換相成候様御取計ヲ煩度此段及御照會候也

農商務大臣回答水第一三號 (明治三十八年二月二十八日)

製鹽ニ關スル參考書類並器具、機械、藥品等保管轉換ノ義ニ付臨第一九四九號ヲ以テ御照會之趣了承右ハ本省ニ於テ事業上差支ナキ限り御照會ニ可應此段及回答候也

鹽務局及同出張所ノ位置ハ鹽田所在地ニ在リテ金庫所在地ヲ距ルコト遠キモノアリ然ルニ規定上收入官吏ハ其ノ領收シタル納金ヲ即日金庫所在地外ニ在ル收入官吏ハ翌日迄ニ金庫ニ拂込ムコトヲ要スル爲メ途中ノ危険アルノミナラス旅費ヲモ要シ之カ取扱上多大ノ不便アルヲ以テ此等不便ノ地行徳外四十餘箇所ニ金庫設置方ヲ提議シタルモ實施期日迄ニ決定ニ至ラサリシヲ以テ差向共ノ取扱ニ付左ノ通牒ヲ爲シタリ

大藏省主稅局長通牒主祕無號 (明治三十八年五月三十日)

鹽務局並同出張所へ金庫設置若ハ金庫派出方ニ付テハ目下主務局ト交渉證議中ニ有之候へ共其ノ實行期日ハ專賣法實施後尙多少ノ時日ヲ要スヘク候條右期間内ハ郵便爲替(五十圓ノ制限ハ)一等郵便局長ニ於テ變更シ得ヘキ筈ヲ以テ收入金ヲ金庫ニ納付シ現金前渡官吏ヲ任命シ現金ヲ保管シテ賠償金ヲ支拂フ等實地支障ナキ様適宜御取計相成度右及通牒候也

元來金庫ハ國庫金集散ノ中樞ニ設クルモノニシテ官金取扱ノ場所ト雖必ス之ヲ設クヘキモノニ非ス之レ別ニ出納官吏ノ制度アル所以ナリ然レトモ鹽專賣事業ハ創始ニ屬シ諸般ノ設備完カラサルノ今日事情ニ於テ已ムヲ得サルモノアルヲ以テ金庫ノ派出ハ金庫本然ノ職務ニ非サルモ其

ノ便否ヲ譬ヘ取扱金高等ヲ斟酌シ左記ノ通二十五箇所ニ限り當分ノ内金庫員ヲ派出セシメ出納ヲ取扱ハシムルコトニ省議ヲ決シタルヲ以テ金庫出納役ニ對シ左ノ通達示シ其ノ旨關係鹽務局長ニ通牒シタリ

大藏大臣達臨第二三六九號 (明治三十八年六月九日)

△鹽務局長

鹽務局及同出張所ニ於ケル一般金庫事務取扱ノ爲メ本年七月一日以降當分ノ内左記ノ箇所ヘ所屬金庫ヨリ臨時金庫員ヲ派出セシムヘシ

但シ派出日數ハ當該官署ト協定スル義ト心得ヘシ

鹽務局及同出張所名		所在地	鹽務局及同出張所名		所在地
行德	出張所	千葉縣東葛飾郡行德町	宇多津	出張所	香川縣綾歌郡宇多津町
吉田	同	愛知縣幡豆郡吉田村	引田	同	香川縣大川郡引田村
大鹽	同	兵庫縣印南郡大鹽村	湯元	同	香川縣木田郡湯元村
牛窓	同	岡山縣邑久郡牛窓町	詫間	同	香川縣三豐郡詫間村
山田	同	岡山縣兒島郡山田村	伯方	同	愛媛縣越智郡西伯方村
山比	同	岡山縣兒島郡山比町	波止濱	同	愛媛縣越智郡波止濱村
寄島	同	岡山縣淺口郡寄島町	多喜濱	同	愛媛縣新居郡多喜濱村
瀬戸田	同	廣島縣豊田郡瀬戸田町	阪出	鹽務局	香川縣綾歌郡阪出町
松永	同	廣島縣沼隈郡松永町	腹赤	出張所	熊本縣玉名郡腹赤村
平生	同	山口縣熊毛郡平生町	阿村	同	熊本縣天草郡阿村
下松	同	山口縣都濃郡下松町	姫島	同	大分縣東國東郡姫島村
秋穂	同	山口縣吉敷郡秋穂村	西市來	同	鹿兒島縣日置郡西市來村
三田尻	鹽務局	山口縣佐波郡中關村	福島	同	宮崎縣南那珂郡福島村

尙又鹽務局及同出張所所在地ニシテ郵便局電信局ノ設置ナキモノアリ專賣行政上不便少カラサルヲ以テ遞信省ニ對シ左記交渉ヲ爲シ郵便電信局ノ配置ヲ促シタリ

大藏次官照會臨第二二〇五號 (明治三十八年五月三十日) △遞信次官

本年四月一日大藏省告示第九十一號ヲ以テ鹽務局及其ノ出張所設置相成候處右ノ内郵便局又

ハ電信局或ハ兩者共設備ナキ箇所有之然ルニ鹽專賣ハ一種ノ官營行爲ニシテ機敏ノ處置ヲ爲スコト多々有之不便不少候條未設置ノ箇所ヘハ成ルヘク速ニ郵便電信局御配置有之候様御取計被成度此段申進候也

第八項 各鹽務局ニ於ケル準備

施行準備

鹽專賣計畫ニ著手シテヨリ鹽務官廳ノ開廳ニ至ル迄ニ於ケル各地方ニ於ケル調査並專賣實施準備等ニ付稅務監督局長ヲシテ之ニ當ラシメタルハ前記セルカ如ク稅務官廳ハ戰時増稅ニ際シ劇忙ノ中ニ於テ鹽ニ關スル諸般ノ調査ヲ爲シ施行ニ關スル資料ヲ供給シ愈專賣法ノ發布セラレルヤ法發布前ヨリノ鹽製造者ニ對スル製鹽許可事務ヲ掌リ尙新置スヘキ廳舎、倉庫用ノ敷地並建物ノ選定及買上、借入等ノ調査交渉ヲ爲シ鹽務局開廳期日ノ迫ルヤ豫メ職員ノ任命、配置並器具用紙類ノ配付等ノ準備ヲ整ヘ期日ノ至ルヤ一切ノ調査關係書類ヨリ製鹽許可書類等ヲ鹽務局長ニ引繼タリ

職員ノ採用ニ付テハ増稅又ハ新稅施行ノ結果多數職員ノ採用ヲ要スヘキヲ以テ特ニ文官普通試驗ヲ丸龜ニ於テ執行シ之カ補充ノ途ヲ講シ一方技術員ノ採用ニ付テハ水産、農藝又ハ應用化學等ノ素養アル者ヲ採用シ一應ノ技術ヲ習得セシムルコトトシ稅務監督局長ニ内達シタリ
斯クシテ明治三十八年四月一日鹽務官廳ノ開廳セララルヤ鹽務局長ハ各其ノ任ニ就キ其ノ管内所轄ノ稅務監督局長ヨリ準備ニ關スル事件一切ノ引繼ヲ受ケ先ツ職員ノ簡撰配置ヨリ事務用品ノ整備、廳内諸規程ノ制定等ニ著手シ施行上ノ準備並之ニ伴フ調査等ヲ進行シタリ
諸般ノ施設ハ本省指示ノ企畫方針ニ遵由シ謬ナキコトヲ期スルト共ニ之カ施行ニハ各管内各其